

こんにちは、小川あきらです。

# きらきら通信

冬号

2014.1月



議会報告

一般質問雑感

2014年予算に関する提言

ぐんまの森林

前橋市民の翼

群馬県議会議員 リベラル群馬



## ご挨拶 2014年 冬

2014、午年《群馬、飛躍の年》

皆様には健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

たくさんの年賀状をいただきましたが、議員は年賀状や寒中見舞いを出すことが制限されているので、こちらから年賀状を出せないのが残念です。

さて、この冬一番話題になった特定秘密保護法案。わずか20時間という短い審議で、強行採決されました。特定といいながら秘密の範囲は行政機関の長が指定するので結局は不特定。これでは国民の「知る権利」の行使も委縮せざるを得ません。国家の安全保障に関わる大事な法案であれば、臨時国会ではなく通常国会で十分な審議を行うべきですし、福島で公聴会を行ったのは一体何だったのか、途中から出てきた第三者機関の機能はどうなっているのか、国民には到底理解できない強引な議会運営でした。そして、この秘密と大きく関わっているのがTPP(環太平洋経済連携協定)です。安倍総理は、当初TPP交渉の過程はすべて国民に公表すると言っていました。いざ交渉に入ってみると「交渉文書は協定発効後4年間

公開しない」という原則だと言います。TPP交渉は単に関税の交渉ではなく、農業や医療制度、参加国の経済社会全体、国民生活や国の主権にもかかわる大きな問題です。これが非公開で行われ、その内容が秘密とされていることに、私たちはもっと危機感を持たなければいけないのだと思います。同じように、県政においても、貴重な税金がどのように使われているかを県民の皆さんとともに厳しくチェックしていく必要があります。そのチェック機能の一つとなるのが選挙です。昨年の一般質問で投票率の向上について質問させていただきました。若者の投票率を向上させるには、常日頃から若者が政治や選挙に関心を持つような教育が重要です。是非、学校で模擬投票を実施してもらいたいと要望させていただいたところ、この11月から、中学校3年生を対象に出前授業形式の模擬投票が始まりました。未来を描くのは私たち。県民、市民、国民が、政治に関心を持つことがやはり政治の原点になるのです。本年が皆様にとって素晴らしい一年となることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

群馬県議会議員 小川あきら



前橋市民の翼



東公民館文化祭



ぐんまフランス祭2013



ぐんまちゃんの和菓子

# 議会報告

9月定例会後期議会が11月27日～12月16日までの間で開催されました。今議会では、重症心身障がい児(者)施設の定員増を図るための施設整備費補助など、2億1,667万円の増額を行う一般会計補正予算の他、公安委員会委員及び収用委員会委員選任など24議案が可決されました。また、5つの意見書・決議を採択しました。

- 公務員獣医師に適用する獣医師固有の給料表の作成を求める意見書
- 法曹養成制度の見直しを求める意見書
- 中国による防空識別圏の設定の即時撤回を求める決議
- B型・C型肝炎ウイルスを原因とする肝硬変・肝がん患者に対する救済を求める意見書
- 少人数学級の推進などの定数改善と、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを求める意見書

## 体力と学力は比例する？

### 全国体力テスト

- 群馬県の小学校男子 …… ワースト2 (46位)
- 群馬県の小学校女子 …… 42位

### 全国学力テスト

- 群馬県の中学校3年 …… 平均上回る
- 群馬県の小学校6年 …… 平均下回る

群馬県の小学5年生を対象にしたの体力テストの結果、平日の平均運動時間は男子65.3分、女子46.0分でもとに全国より10分ほど下回り、運動習慣が身に付いていない現状が明らかになり

ました。車社会の群馬県。子ども達の体力は都内の子ども達よりも数段低い状況です。生活の利便性と効率性を追及した結果、人間の身体能力の低下は著く、特に子どもの体力低下は危機的状況にあります。一つのスポーツのみを体験する子ども達には、筋力や関節の動きに偏りが生じ、全体の動きにも影響が現れます。また、非活動的な子ども達は全く外で遊ぶことがなく一日2千歩程度の運動量という極端なケースも。体力と学力には相関関係があると言われ、体力に自信がある子どもほど、学校の勉強が好きという結果も出ています。学校教育における体育の授業やプロスポーツだけではなく、スポーツの得意・不得意、性別や年齢にかかわらず、地域の誰でもが継続的にスポーツに親しむことのできる環境づくりが重要です。

## 県議のあれこれ。

## 県議会の豆知識

### Q. 3期当選すると、年金がもらえるの？

在職3期(12年)以上を務めた65歳以上の退職者に支払われていた議員年金制度は2011年6月に廃止となりました。既に要件を満たし退職した議員には引き続き年金が支給されますが、現職議員には退職後の年金はありません。

### Q. 秘書さんはいるの？

国会議員と違い、県会議員は公費で秘書を付けることができません。政務調査費を人件費に利用して秘書を採用している人や家業の収入で採用している人もいますが、当事務所では、秘書さんを雇う余裕がありません。車の運転やスケジュールの管理なども全て一人でやっています。ボランティアさんに事務所のお留守番などをお願いしていますが、どうしても留守になってしまうことも…。事務所が開いていないこともあります。ご容赦ください！



前橋市農業まつり

ガーデンタイム

収穫祭市

県外視察(那覇市)

# 一般質問雑感

12月4日、3度目の一般質問に立たせていただきました。傍聴に来てくださった皆さん、テレビやインターネットで見ていただいた皆さん、本当にありがとうございました。今回は、5つのテーマで質問をさせていただきました。

## 1 コンベンション施設の建設について

高崎競馬場跡地に280億円をかけて建設が予定されているコンベンション施設。そのすぐ近くには高崎市が都市集客施設、新体育館の建設を予定しています。ハコモノ建設は一步間違えると、若い世代や子供たちの世代に大きく負の遺産となってしまいます。2035年には、群馬県の人口は約170万人になり、三人に一人が高齢者、すなわち二人で一人を支える時代に突入すると予想されています。歳入より歳出が多い時代に、福祉を減らすしかない、増税するしかない、今年は国の借金が1000兆円を超えて、国民一人あたり792万円の借金を背負っていると言われていています。そういう方向に社会が進んでいる中で、このコンベンション施設が将来の群馬県にとって本当に必要な施設なのか、福祉や教育を充実させた方が良いのではないのか、大きな施設を作る前に観光地や食文化、歴史など群馬県の魅力を上げる方が先ではないのか、そういったことを県民と一緒にしっかり考えていく必要があると思います。そこで、①そもそも県民会館やグリーンドーム、民間ホテルなど既存施設が多数ある中でなぜ大規模なコンベンション施設が必要なのか。②金沢市などでは民間ホテルなどを活用して多数の国際会議を誘致しているが群馬県ではなぜ誘致ができないのか。③誘致活動をこれまでどのように行っていたのか。誘致活動もしていないのに大規模施設を建設するというのは、税金を使うという意識があまりにも低いのではないのか。④維持管理費はどのように考えているか。⑤多額の税金を投入する事業なので県民に対する情報提供と県民を巻き込んだ議論を行うべきではないか、について質問しました。

## 2 子宮頸がん予防ワクチンの副反応被害について

平成25年4月より定期予防接種となった子宮頸がん予防ワクチンは、重い副反応などが多発したことから、わずか2カ月で勧奨を差し控えるという事態に陥っています。群馬県内でもこれまで約5万人の女子生徒がワクチンを接種し、そのうち19人に副反応の症状が発生しています。厚労省のチラス(子宮頸がん予防ワクチンの摂取の差し控えに関するチラス)を、学校を通じて全ての生徒児童・保護者に配布することと、市町村ごとの被害の実態調査を行うことを要望しました。

## 3 ぐんま Wi-Fi プロジェクトについて

2020年の東京オリンピックのキャンプ地誘致の話題が出ておりましたが、オリンピックや富岡製糸場の世界遺産登録を前に、群馬県としても外国人誘客の受け入れ態勢を整えた方がよいのではないかとWi-Fiの環境整備について委員会の中でも質問させていただきましたが、先日「ぐんま Wi-Fi プロジェクト」の発表となりましたので、その中身や狙い、課題等について伺いました。また、災害時の安否確認や連絡手段を確保するため、観光地や避難所、県有施設などにおける公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備を要望しました。

## 4 道州制について

臨時国会への提出は見送られましたが、来年の通常国会以降、道州制基本法案が国会に提出される可能性があります。与党はもちろん野党の一部も道州制に賛成という状況を見ると、そう遠くないうちに道州制基本法が成立する政治情勢が整っていると言えます。そこで、知事の道州制に関する考えをお聞きしました。また、新潟県では、平成23年に新潟州構想を発表し、地域間競争ができる環境をつくるために新潟県と新潟市で取り組みを始めています。法案が通った時には、既に大きな差がついているのではないかと。新潟に州都が置かれれば、人・モノ・金も一気に新潟に集中してしまうのではないかと。立派なコンベンション施設を作っても、そうやってしまっただけでは意味がありません。市町村や県民を巻き込んだ議論に早く取り組むことを要望しました。

## 5 利根川サイクリングロードについて

利根川サイクリングロードは、渋川市金井から埼玉県の行田市まで続く自転車道路。その先の江戸川サイクリングロードと合わせると、ディズニーランドまで続く日本で一番長い170キロの自転車道路となります。これが一部前橋市上新田町で迂回となっています。近年の自転車ブームや赤城山ヒルクライムと相まって、利用者も非常に増えています。早期の完成と迂回路の安全確保を要望しました。

# 2014年予算に関する提言

## 1 県独自の経済活性化及び雇用対策への提言

1. 過疎山村地域において雇用と所得を確保し、若者や子供も定住できる環境を創るため、農林業の6次産業化や再生可能エネルギー、観光など地域資源を活かした産業創出を該当市町村と協議のうえ計画的に推進すること
2. 再生可能エネルギー導入推進にあたっては、地域経済への波及効果が高いながらも導入が依然不十分なバイオマス、小水力発電の推進に重点をシフトすること
3. 今年度より引き上げられた障がい者雇用率の達成のため、公共発注や指定管理等を通じて企業等の率先雇用を働きかけるとともに、障がい者雇用に積極的な企業等に対する県独自のインセンティブ策を講じること
4. 円安による原材料・燃料等の価格高騰の影響を受ける県内中小企業への対策を講じること
5. 「ぐんまの木で家づくり支援事業」については、引き続き制度を維持・拡充し、県産木材利用の促進に努めること

## 2 安全安心な暮らしへの提言

1. 子宮頸がんワクチンの副反応について、市町村と協力して実態調査を早急に行うこと
2. 群馬県健康増進計画の中で推進方針を打ち出しているフッ化物塗布・洗口については、国のガイドラインにとらわれず、県民への公平な情報提供と保護者の同意について慎重に行うこと
3. 子どもへの放射能による健康被害に対し多くの県民が不安視していることから、有識者会議での答申にとらわれず、子どもの健康調査を実施すること
4. 本県において一時的に保管をしている放射能指定廃棄物については、長期化する可能性が高いことから、現行のフレコンバッグによる保管方法をより適正なものに改善すること
5. 放射能被害で大きな被害を受けているしいたけ農家に対する県の支援を強化すること
6. 東日本大震災の教訓を生かし、有事における危機管理体制を構築するとともに、市町村との連携強化を推進すること。また、浅間山については、1783年の大爆発を想定した住民の避難、救助などの危機管理体制を確立すること
7. 精神障がい、身体障がい、知的障がいの本人に対する生きがい観や就労機会の支援を強化するとともに、家族介護の軽減及び支援策を推進すること

8. 女性が暴力や命の危険にさらされることなく安心して暮らせる環境を整えるため、ストーカー対策及びDV相談支援体制をより強化し、市町村への配偶者暴力相談支援センターの配置を推進すること。また、警察や弁護士会、DV被害者支援団体など民間を含めた関係機関との連携を深めるとともに、とりわけステップハウス等の整備を行う民間団体への支援を拡充すること
9. 自殺対策については、連合群馬の「ライフサポートぐんま」など、民間団体等を活用した取り組みを充実すること

## 3 社会基盤づくりへの提言

1. 公共交通については、観光振興および「まちづくりビジョン」で目指すコンパクトな都市づくりと結びつけた振興策を進めること
2. 道路整備の在り方について、既存の道路等インフラの維持管理・更新を先送りすることなく最優先に予算配分を行うこと
3. 国際戦略の柱の一つである外国人観光誘客を促進するとともに、災害時の安否確認や連絡手段を確保するため、観光地や避難所、県有施設などにおける公衆無線LAN(Wi-Fi)環境を整備すること

## 4 その他重要課題に対する要望事項

1. 現在行われている職員の給与カットは必ず今年度で終了させるとともに、今後同様な事態を招かないよう、国に対して毅然と交付税の復元を求めること
2. 高崎競馬場跡地におけるコンベンション施設建設計画にあたっては、本県の最重要課題であることから、採算性の根拠、関連事業を含めた全体事業費、後年の維持管理コストなど、事業実施の可否判断のために重要な情報を速やかに県民・議会に示すこと
3. 森林環境税の制度設計にあたっては、県民や企業の参加を促進するためのソフト事業・ボランティア支援事業を大幅に拡充すること。また、CO<sub>2</sub>吸収量のクレジット化事業など先駆的な事業を盛り込むこと
4. 動物愛護施策については、殺処分ゼロを目標にした体制づくりを行うとともに、NPO法人との連携支援、里親探しなど、県民総ぐるみの活動を展開すること



10月31日、『群馬県議会 森林・林業・林産業活性化促進議員連盟(林活議連)』の視察研修で、電力中央研究所赤城試験センター、赤城自然園、吾妻木質バイオマス発電所、森林学習センターにお邪魔しました。まずは電力中央研究所赤城試験センターにて、ペレット工場と高性能電池実験棟を見学。



こちらで製造しているペレットは、センターの森林保全計画に基づいて、施設内で伐採したクロマツ・アカマツを原料にしており、建築廃材や科学処理された木材は一切含まれていない良質なものです。個人住宅用のペレットストーブは30万~50万円とまだまだ高価ですが、ハウスでエコ野菜の栽培に利用したり、小学校のストーブとして、また公共施設の重油ボイラーの更新に併せて、木質ペレットの利用を増やしていきたいですね。

県内では、上野村が木質ペレットの利用に先進的に取り組んでおり、公共施設や村営住宅にペレットストーブを導入したり、貸し出しもしているそうです。続いて、渋川市の赤城自然園へ。

西武セゾングループが“自然と人間の共生”というテーマのもと、次世代に豊かな自然を引き継いでいくために20数年をかけて整備してきた森林。ディズニーランドとディズニーシーを合わせた広さと同じくらいの敷地と、東京スカイツリーと同じくらいの標高の赤城山西麓に見事な景色が広がっています。入場料は大人1000円(年間パスポートは3000円)ですが、入場料収入をはるかに超えた維持管理費がか

かっており、経営に関しては、赤城自然園の環境保全活動をサポートする約30社の企業に支えられているそうです。森林浴というと、精神的な効果が大きいといわれてきましたが、科学的にも、樹木が発散するフィトンチッドと呼ばれる物質により、NK細胞が活性化され免疫力が向上することが証明されています。アンチエイジングにも効果があるそうな…。こちらの場所は、来年森林セラピー基地に指定される予定ということで、是非みなさん一度遊びに行ってみてください!

続いて、吾妻木質バイオマス発電所を訪問。2011年から稼動している木質チップを主燃料とする発電規模13600kwの発電所です。年間335日の連続運転で8500万kw(24000世帯分)を発電。現在は廃木材・剪定枝が中心ですが、今後は未利用材(間伐材)の割合を高めていきたいとのこと。

現代の大量生産、大量消費、大量廃棄型の経済社会システムから、資源循環型の自然との共生を目指した社会への変革が求められているように感じます。今後も環境に優しいグリーンエネルギーが増えていくとイイですね!



11月14日、木質ペレットの活用促進の調査で上野村に行ってきました。間伐材を使用してペレットを作り、温泉施設や小学校、村営住宅にペレットボイラーやペレットストーブを導入しているとのこと。希望する村民には村がペレットストーブを貸してくれるそうです。5年後には年間1100トンのペレットを生産し、村内で消費してい

けるということで、循環型の構造が出来上がっていますね!

こちらはペレットボイラーを導入している温泉施設です。



こちらは、村営住宅。ペレットストーブが付いています。



ちなみに、村営のきのこセンターで使用しているオガクズも、ペレット工場で作っています。

きのこセンターでは、約60人の雇用が生まれているとのこと。国土交通省の水質調査で「関東一きれいな川」として認定された神流川の水と地元の材木を原料とするオガクズを使用したきのこは、肉厚で風味豊かなんだとか。市場でも高評価を得ており、出荷が間に合わないくらいのニーズがあるそうです。使用した菌床は脱水して施設内で燃焼し、その熱をボイラーに利用しています。

ちなみに、公用車の一部には電気自動車を導入。エネルギーに対する意識の高さが伺えます。

木質バイオマス発電などにより電力を自給できれば、自給自足のコミュニティーができあがりそうです。



11月20日～22日までの間、前橋市民の翼で山口県に行ってきました。前橋市長、市議会議員、県議会議員をはじめ、楢取顕彰会、市民の翼総勢約90人が大挙し、萩市との交流会をメインに、初代県令楢取素彦ゆかりの地を巡る旅。楢取家当主の能彦さんも一緒です。空港では、防府市楢取素彦顕彰会の皆さんが、熱烈なお出迎えをしてくれました。

長、市議会議員、県議会議員、教育長をはじめ40名が出席し、総勢130名の盛大な交流会となりました。

の百箇日を前に悲観する手紙など、当時の群馬県の様子や楢取の思いを感じることができました。



最初の目的地は防府天満宮。天満宮は日本中に1万以上ありますが、防府はその最初の天満宮です。

萩市の伝統無形文化財、住吉神社の「お船謡」で始まり、群馬県からは中村のりお県議が、楢取素彦の紙芝居を披露。紙芝居の反響は大きく、萩博物館の道迫学芸員や教育長から、是非明倫小学校や椿東小学校でもやって欲しいという熱い要望がありました。

続いて、松蔭神社を訪れました。境内には、維新の原動力となった松下村塾が現存しています。萩藩校明倫館の儒者であった楢取素彦は、吉田松陰の後継者として松下村塾で塾生の指導にあたりました。瓦ぶきの家で、講義室はわずかに8畳。この場所から、幕末の維新时期に活躍し、近代日本の原動力となった数多くの逸材が輩出されたことを思うと、大変感慨深くなります。



2015年の大河ドラマの主人公が松陰の妹・美和子に決まり、その伴侶である楢取も一躍注目を浴びるかもしれません！ また、今回の市民の翼交流会には、萩市との友好のきっかけを築いてくれた元前橋市長の萩原弥惣治さんも参加。交流会に華を添えてくださいました。

ここでは明治天皇の皇女の遺品を納めた資料館を拝見。楢取は皇女の養育係だったため、皇女がわずか3歳でこの世を去った際、特別に天皇直筆の書やお守袋等の遺品を託されたそうです。資料館には楢取の大きな肖像画と彼が群馬県令の時に編さんした「修身説約」が展示されていました。これは、修身の教科書として全国的に販売され、学問のすずめと並ぶ明治のベストセラーとなりました。



その後、東光寺へ。東光寺は毛利氏の菩提寺で奇数代の萩藩主のお墓があります。維新後に台湾で抗日派に襲撃され、命を落とした楢取素彦の次男・楢取道明氏も祀られています。

続いて訪れたのは、毛利本邸。楢取素彦は、幕末の動乱期には、十三代萩藩主毛利敬親の側近に登用され、木戸孝允や穴戸たまき、坂本龍馬、西郷隆盛らと協力し、倒幕に活躍しました。毛利本邸の一角は博物館となっており、毛利家に代々伝わる宝物を展示しています。その中には国宝に指定されている雪舟の「四季山水図」もあります。

二日目は、萩博物館から。こちらでは、楢取素彦が群馬県令時代に、松陰の実兄・杉民治に宛てた手紙などを特別に拝見させていただきました。新任地の熊谷県(入間・群馬)を難治と称した手紙、前橋への県庁移転問題を報じる手紙、群馬県の養蚕業の奮発ぶりを知らせる手紙、妻寿子

楢取素彦ゆかりの地を訪ね、防府市・萩市との交流を深めた二日間。参加した皆さんからも、「もっと自分たちの住む地域のことを知りたい」「前橋にも歴史館があったらいいな」と色々なご意見が出ました。群馬の基礎を築いた楢取をしっかりと顕彰することによって、困難な時代を生き抜く精神を学び、群馬の未来の姿を描いていきたいと思ひます。『至誠にして動かざるものは未だこれ有らざるなり』

その後、萩市に移動し、いよいよ友好都市萩市交流会です。萩市からは、野村市

# 活動報告

## 主な地元活動・参加行事

(掲載の都合上、割愛させていただく場合がございます。)

- 11月 1日 議員団会議／都市計画審議会
- 11月 3日 県民マラソン／収穫祭市／西の市／弁天ワッセ
- 11月 4日 東日本フィギュアスケート選手権大会
- 11月 5日 本会議／ケータイ議連研修会／弁護士会倫理研修
- 11月6～8日 社会基盤づくり特別委員会県外調査(沖縄)
- 11月 9日 東公民館文化祭／JA前橋市創立20周年記念式典並びに平成25年度前橋市農業まつり
- 11月10～11日 女性議員ネットワーク会議
- 11月 12日 前橋JC11月第一例会
- 11月 13日 前橋市社会福祉大会
- 11月 14日 上野村木質バレット調査／東公民館建設検討委員会
- 11月 15日 前橋工業高校90周年記念式典
- 11月 17日 スペシャルオリンピック群馬大会／大利根町文化祭 鉄道を活かしたまちづくりシンポジウム
- 11月 19日 議員団会議
- 11月 20日 前橋市民の翼(山口、広島)
- 11月 24日 ぐんまフランス祭2013
- 11月 25日 群馬県社会福祉大会
- 11月 26日 本会議
- 11月 27日 ふじの国県議団との意見交換
- 11月 28日 宮崎タケシ後援会忘年会
- 11月 29日 一般質問
- 11月 30日 群馬ブロック協議会第2回全体会議
- 12月 2日 一般質問
- 12月 4日 一般質問
- 12月 5日 知事要望、農政懇談会
- 12月 6日 厚生文化常任委員会
- 12月 7日 前橋ユネスコ協会・留学生交流会
- 12月 9日 厚生文化常任委員会
- 12月 11日 社会基盤づくり特別委員会
- 12月 12日 社会基盤づくり特別委員会・勉強会
- 12月 13日 議員団会議／粕川地区忘年会
- 12月 14日 蕎麦打ち教室／連合議員懇勉強会／前橋JC卒業例会
- 12月 16日 本会議
- 12月 18日 農業経営士会／農村経営アドバイザーの会との研修会
- 12月 19日 恵風園評議会／前橋東ロータリークリスマス例会
- 12月 26日 浦和トーストマスターズクラブ
- 12月 27日 前弁懇忘年会
- 12月 28日 消防団による歳末特別警戒激励
- 12月 29日 群馬TFランニングクラブ
- 12月 31日 雷電神社、玉村神社
- 1月 1日 前箱田町、古市町新年互礼会



# BLOG

ブログ  
やっています!  
ぜひ一度覗いて  
みてください



akira-o.jp/blog/ GO!

## 東公民館建設 検討委員会

投稿日：2013年11月14日

小川あきらです。今日は第3回東公民館建設検討委員会が開催され、1年以上をかけて議論し、やっと完成した東公民館改築工事の概要について説明がありました。地域の皆さんの意見を取り入れていただき、延床面積は1500㎡→1700㎡へ。新たに、図書館文館や住民交流スペースなどが設けられることになりました。また、市内の公民館で初の洋風デザインで、屋根に大きな窓を設けて明るい室内となるように工夫されています。180㎡の会議室はパーテーションで3つに仕切って使用することも可能。災害に備えた防災倉庫や非常用電源装置・蓄電池を備え、太陽光発電や地中熱利用空調機を取り入れるなど、防災や環境にも配慮した取り組みも。今後は、平成26年3月に本体工事に着工し、平成26年度中に完成の予定で、総事業費は9億5000万円。生涯学習や生涯スポーツが盛んな東地区の新しい拠点の誕生です。

仰ぎ最善を尽くす」という校訓も素晴らしいと思います! 時間の関係で式典のみしか居られませんでした。式典後には、OBの真田修治先生の記念講演が行われました。真田先生は、平成11年に日本弁理士会の副会長を務め、弁理士法の大改正にも携わった知的財産のプロ。前工を卒業した後、モノづくり企業に就職する生徒が大勢いると思いますが、技術者として知的財産のことを知っておくことはとても大切なことだと思います。きっと、生徒たちにとっても、得るものが多い講演だったのではないのでしょうか。私も聴きたかったな〜!

## スペシャルオリンピック 日本・群馬 第1回群馬大会

投稿日：2013年11月17日

小川あきらです。今日は、スペシャルオリンピック日本・群馬の第1回群馬大会が開催されました。SO群馬の設立記念大会でもあります。東京、神奈川、千葉、埼玉、山梨、新潟、そして福島からたくさんのアスリートが集まり、県内各地の会場で、テニスやボウリング、水泳に汗を流しました。大会の運営にあたっては、ガールスカウトの皆さんや農大二高の生徒さん、群大の学生さんも協力してくれました。希望と感動のスペシャルオリンピック。多くの人に知ってもらいたいし、参加してもらいたいと思います。『あなたから彼らにやさしさを、彼らからあなたに感動を』

## 群馬県立前橋工業高校

投稿日：2013年11月15日

小川あきらです。今日は、群馬県立前橋工業高校創立90周年記念式典に出席しました。大正12年から続く歴史と伝統。群馬県のモノづくりを支えているたくさんの人材を輩出してきた伝統校です。「高きを

## サポーター・ボランティア募集

みんなおいでよ!!

## Akira OGAWA



1982年・農家の長女として誕生。中央大学在学中に司法試験合格。前橋地方裁判所で司法修習の後、群馬弁護士会へ登録。2011年・群馬県議会議員(リベラル群馬)。都市計画審議会。前工団委員。2013年度は厚生文化委員会、社会基盤づくり特別委員会に所属。

お神輿(お祭り)好きの庶民派。

政治を身近に☆体験しませんか?!



# 小川あきら事務所

〒371-0844 群馬県前橋市古市町 1-43-7 1F  
 ● TEL.027-255-7700 ● FAX.027-255-7788  
 ● URL.http://akira-o.jp ● Email info@akira-o.jp

